

第4期登山学校は2022年4月3日から開講

愛知県勤労者山岳連盟第54期登山学校を、下記の2コースで開校します。

マウンテニアリング・コースは、山を歩くための生活・行動技術、パーティーとしての基本的な行動や考え方を学び、安全な登山の総合的な力量を身につけます。

クライミング・コースは、登攀具の初歩的な使い方から岩登りの技術、安全についての理解と認識を高めていきます。

登山の基本的な知識・技術を体系的に学び、「連れていってもらおう」登山者ではなく、総合力を身につけた自立した登山者になることをめざします。多くの仲間の受講を呼びかけます。

1 定員 マウンテニアリング・コース、クライミング・コース ともに15名

2 応募資格、申し込み方法

資格は特に限定しませんが、学ぶ意欲、体調管理ができること、きちんと歩く力があること。

(実技の前に課題を配布しますので、ロープワークなどは予習のこと)。

労山基金に10口加入していること。(安全対策基金を活用し、開催されています)

入校申込書兼推薦書に必要事項を記入し、下記まで申し込んでください。

(必ず所属山岳会の会長が推薦状を記載し、県連へメールで申し込んで下さい)

【申し込み先】 愛知県勤労者山岳連盟 登山学校事務局
tozangakko@gmail.com

3 受講料 各コースとも33,000円(机上講習、実技講習代、テキスト代を含む。実技講習にかかる交通費、装備等は各自別途実費負担) ※クライミング装備をそろえるのにお金がかかります。

理論講座を受講してから購入するようにしてください。あわてて買ってしまわないこと。

4 カリキュラム *基本的に、遅刻、欠席は認めません。 *宿泊を伴う実技等の開催は、状況に応じ対応

【理論講座(マウンテニアリング、クライミング共通)】 *オンライン受講は、状況に応じ対応

開講日	テーマ ()内は講師	講習内容
2022年 4月3日(日) 8:30~16:30	労山運動の理念 ①登山の動機と意義②組 織論/③遭難事の防止/	開校式を兼ねています。何気なく山に登っている自分をまず見つめてみましょう。登山者として必要な「山に入る姿勢」と「なぜ山に登るか?」を考えます。

	④自然保護 登山の計画～下山まで ① 計画書の意味／装備 と食糧 (洞井)	また計画書の重要性を通して、自分が所属している山岳会の意味や登山の危険と安全、その防止のための登山の基礎的な知識やルールなど登山の基本について考えます。
4月 4日(月)	岩登りの基礎Ⅰ (森)	岩登りに関する考え方、具体的・基本的な知識、用具の解説、ロープワークについて学びます。
4月 11日(月)	岩登りの基礎Ⅱ (岩田)	岩の登り方・確保の方法に関する注意点など、クライミングにおける技術とルール、その実際を理解します。
4月 18日(月)	登山の計画～下山まで ② 生活・行動技術 (洞井)	山での生活の基本、行動上の注意点、歩き方や危険箇所の判断・通過の仕方などについて学習します。
4月 25日(月)	パーティー論・リーダー論 (洞井)	パーティーが安全に登り、確実に下山できるようにリーダーやメンバーが果たすべき役割と責任は？
5月 9日(月)	地図の読み方・使い方 (板倉)	地図の実践的な使い方、読み方を学ぶとともに、計画書作成に不可欠な概念図の書き方について学習します。
5月 16日(月)	気象Ⅰ (相澤)	天気図と山の天気に関する基礎を学びます。天気予報だけではわからない、気象のあれこれが見えてきます。
5月 23日(月)	気象Ⅱ (相澤)	天気図が書けるだけでなく読めることが必要です。天候の予測、次の行動の判断ができるようになるかな？
5月 30日(月)	沢登りの基礎 (岩田)	岩登り、生活・行動技術など総合的な力を要求される沢登り。その装備や技術について学びます。
6月 6日(月)	確保技術講習会 (机上) ※県連遭対部行事 (三宅)	岩登りや沢登りに不可欠な確保技術。正確な知識と安全な確保とはどのようなものか、を学びます。
6月 13日(月)	無雪期救助訓練 (机上) ※県連遭対部行事 (清水)	県連の救助訓練に参加します。山行中に起きた事故を想定した救助の基礎的で実戦的な知識と技術を学びます。
6月 20日(月)	体力・トレーニング論 (野村)	登山に必要な体力づくりを効果的におこなう方法を学びます。日常的に実践できるようになりましょう。
6月 25日(土) 9:30～16:00	救急救命法 ※県連遭対部行事 (森)	ファーストエイド。山行中のアクシデントや疾病に対処できる実戦的な知識・技術を学びます。
6月 27日(月)	登山の危険と安全対策 (森)	山では危険のあることを知り、安全な登山をしていくことは登山者の責任。事故事例を検証し、他に学ぶことで、どうしたら安全な登山ができるかを考えます。

【実技】M：マウンテニアリング・コース、 C：クライミング・コース、 MC：両コース共通

実施日程	区分	山域(予定)	備考
------	----	--------	----

4月16-17日(日)	MC	南山(豊田)ゲレンデ	テント泊。基本の「き」を学ぶ
4月23日(土)	M	鈴鹿・烏帽子岳(予定)	山歩きのおもしろさを実感
4月24日(日)	C	南山(豊田)ゲレンデ	いよいよ、岩場で実践
5月15日(日)	C	鈴鹿・藤内壁	岩登りの基本を反復しながら確認
5月21-22日(土・日)	M	鈴鹿南部(未定)	幕営・生活技術を習得する
5月29日(日)	C	鈴鹿・藤内壁	岩登りの基本を反復しながら確認
6月12日(日)	C	鈴鹿・藤内壁	岩登りの基本に習熟する
6月19日(日)	MC	比良(予定)	確保技術講習会実技 ※県連遭対部行事
6月26日(日)	MC	鈴鹿・藤内壁周辺	救助訓練 ※県連遭対部行事
7月2-3日(土・日)	MC	鈴鹿周辺(予定)	1日目読図、2日目沢登り
8月20日(土)	M	中央ア・烏帽子岳	研修山行を見据えた実技
8月21日(日)	C	鈴鹿・藤内壁	研修山行を見据えた実技
8月27-28日(土・日)	M	八ヶ岳	研修山行 ※8月22日(月)打合わせ
9月3-4日(土・日)	C	八ヶ岳 阿弥陀南稜～小同心・中山尾根(予定)	研修山行 ※8月22日(月)打合わせ

登山学校の理論講座は、労山会員なら誰でも受講可能です。 (一講座500円)

「学びたい！」と思う講座をチョイスして聞くことができます。この機会を有効に使いましょう！

有料ですが、なかなか普段、会では学べない内容の講座をラインナップしています。

講座当日、19時半までに県連事務所へどうぞ！ 県連登山学校のテキストも、希望者には頒布(1000円)しています。当日の講師の補足資料(受講者に配布)とあわせて利用してください。

第54期の登山学校もハイブリッドで理論講座を開きます。

第52期の確保技術講習会を試験的に、そして第53期の登山学校からは、本格的に理論講座を対面とオンラインのハイブリッドで開講しました。コロナ禍による密を避ける工夫でもありましたが、職場や家庭の制約や、なかなか遠くて通えない、という会員にも受講の機会を広げるといふ点では大きな意義がありました。第54期も、同じように開講します。

また、**第一回の理論講座「労山運動の理念」の講座は、昨年と同様、無料で聴講が可能です。** 昨年は岡山、静岡の仲間たちの聴講もありました。

希望コース	1. マウンテニアリング 2. クライミング (○で囲む)		
所属山岳会			
受講者氏名	ふりがな	性別	男・女
生年月日	西暦 年 月 日 生まれ (満 才)		
血液型	型 (Rh +・-)	遭対 口数	口
連絡先	〒 自宅電話番号： 携帯電話番号： Eメール： 【緊急連絡先】 電話： 氏名 続柄		
主な登山歴			
受講に期待 すること			

入校申込書 (推薦書)

推薦の理由

会長

印

※入校申込書兼推薦書に必要事項を記入し、下記までメールで申し込んでください。

【申し込み先】 愛知県勤労者山岳連盟 登山学校事務局 tozangakko@gmail.com